

# 「環境とエネルギーを考えるとやま女性の会」 活動報告（平成24年度N0.1）

## 第21回総会 & エネルギー対談

平成24年6月2日（土）

富山第一ホテルにて

第21回総会には、会員80名が参加しました。

冒頭、あいさつに立った高澤会長は、「エネルギー自給率がわずか4%の日本において、私たちの生活や国力の維持を図る上で、エネルギーをいかに安定的に確保されるかが重要な位置を占めている。福島の事故により、原子力発電に対する不信感が強まる中で、国のエネルギー戦略を冷静に見る姿勢が失われているようにも感じる。再生可能エネルギーの導入は大切ではあるが、その普及拡大には多くの課題がある。エネルギー問題は、環境や経済、暮らしなどを含む難しい課題であり、私たち一人ひとりがエネルギーに対する正しい知識と判断力を持って、未来の姿を描いて参りたい」と、会の活動に対する理解と支援を呼びかけました。



高澤会長

北陸電力富山支店酒井支店長の来賓あいさつでは、「電気の安定供給の確保と現行の電気料金の水準を維持するためにも、安全を確保した上で、一日も早い志賀原子力発電所の稼働が必要だと考えてい

る。福島の事故を踏まえ実施してきた安全強化策の実施状況と、その対策によって地震や津波に対して十分な安全裕度があることを確認したストレステストの評価結果について、地域の皆さまに丁寧に説明し、再稼働に向けご理解いただけるよう、全力を尽くしてまいりたい。また、このまま稼働できなければ、今年の夏場は大変厳しい需給状況になるため、皆さまにはご負担をおかけすることになるが、生活に支障のない範囲で節電のお願いをすることとした。ご理解賜りたい。」と話されました。



酒井支店長

その後、平成24年度の活動計画案などについて審議が行われ、承認されました。

また、総会後に北陸電力制作のDVD「志賀原子力発電所の安全強化策とストレステストの結果について」を上映しました。

神津カナ (作家) と山名 <sup>はじめ</sup>元 (京都大学原子炉実験所教授) の  
「今、あなたと話したい。これからのエネルギーのこと」

総会に引き続き、エネルギー対談を開催しました。会員のほか一般の方も含めて約200名が参加しました。

今、日本が抱えているエネルギー問題はどのようなものか、私たちの生活にどのような影響を与えるのか、原子力、火力、再生可能エネルギーの特性や課題などについて、わかりやすく語っていただきました。

山名教授からは「今、原子力はだめか、いいかの二極化の議論になっている。脱原子力による国力の低下はボディブローのように効いてくるだろう。原子力、火力、再生可能エネルギーのそれぞれの特性をよく理解し、冷静に考えてほしい。」と話されました。

また神津さんからは「今、感情的な選択をしまうと、子供、孫の代まで引きずることになる。感情論から早く頭を切り替え、丁寧にものを見て選択していく姿勢が大切。」とのメッセージがありました。



山名教授



神津さん

★★VOICE★★ ～講演会に参加された方の声～

- 今までは原子力は反対だったが、もっと冷静に日本の経済等を考慮した上で原子力について考えなければならないことが理解できた。
- 国民一人ひとりが、これからのエネルギーについてよく考え、未来のために努力する必要がある。
- 原子力は必要なエネルギーであり、安全対策をしっかりとやり、うまく利用していくことが大切。
- 難しい問題を両講師がわかりやすく説明してくださり、大変よかった。
- 資源の少ない日本において、今後のエネルギー問題は課題が山積していることがわかった。

☆発行元・お問い合わせ先☆

「環境とエネルギーを考えるとやま女性の会」

(事務局) 北陸電力株式会社 富山支店総務部総務地域チーム  
〒930-0858 富山市牛島町 13-15  
(TEL)076-405-1251 (FAX) 076-405-1252  
(ホームページ) <http://www.toyama-enenokai.jp>

